

令和6年度 伊予市がんばる地域コミュニティ応援事業交流会 概要

開催日時：令和7年3月16日（日）13：30～16：30

開催場所：伊予市保健センター2階 第1・第2会議室

参 加 者：27 名（伊予市がんばる地域コミュニティ応援事業費補助金審査会審査委員、採択団体、一般参加者、事務局（地域創生課））

○開会の挨拶（伊予市企画振興部地域創生課長）

- ・令和4年度から地域の皆さんが自発的に活動することへの行政から応援するためにスタート
- ・伊予市住民自治基本条例による住民自治組織の推進
 - 従来の地縁型のコミュニティ+テーマ型のコミュニティの重要性
 - 地域コミュニティの活動が伊予市を盛り上げるきっかけとなれば（地域活動の意義について）
- ・NP0 法人や労働者協同組合+「人」のつながり→伊予市の魅力=人の力
- ・令和7年度はコミュニティスクールも本格スタート
- ・今後、参画協働の推進にみなさんの力を貸してほしい



○事務局より事業概要の説明

- ・開催趣旨／スケジュールの説明
参加者同士の交流、意見交換を通して地域活動の楽しさややりがいを再認識し、新たな気づきを得る機会とすることを目的
- ・交流会スケジュールの説明（交流会案内参考）
令和6年度採択団体による事業成果発表
会場内による活動相談や話題提供
参加者全員による交流会

○令和6年度採択団体の活動報告（概要・成果・課題等を報告）※各団体10分程度

① いよあかり



活動概要：地域資源（竹灯籠等）を活用したイベント（事業）の企画・運営

成果：ほたる鑑賞会や各体験イベントの実施→市内外との人とのつながり

課題：参加者の定着と新規参加者の確保等

② 地域新聞みあき



活動概要：ほたる鑑賞会、レンコン収穫祭等を通して地域資源についてもっと知る活動

成果：地域の歴史や文化を紹介→地域資源の掘り起こし、他団体の連携（地域新聞みあき）

活動概要：新聞の発行頻度の向上と広報手段の拡充

③ 夕照拓道を活用した桜景色づくりの会



活動概要：桜の植樹等による景観の整備

成果：地域住民との協力による活動推進→企業（ボランティア）とのつながり

課題：若年層の参加促進、地域住民の意識向上（無理のない活動の継続）

④ えまちゃんちのレモネード



活動概要：小児がん支援を目的としたレモネードスタンドの運営

成果：活動の売り上げを小児がん研究センターへ寄付、取り組みの展開ビジョンの検討

課題：安定的な運営と支援の継続、参加者の拡大と理解の拡大

⑤ 中予地域山林保全シニアボランティアの会



活動概要：竹林整備と資源活用

成果：持続可能な地域コミュニティの可能性を検討できる手段（竹チップ堆肥の製造・活用）

持続可能な取組み、地域の子ども達にも学びの場の提供

課題：持続可能なビジネスモデルの構築、展開

⑥ E4 プラットホーム



活動概要：防災と多文化共生をテーマにした活動（伊予市から海外とのつながりづくり）

成果：高校生・大学生との協働で防災意識を啓発（伊予市文化祭）、多文化共生の可能性拡大

課題：活動の認知拡大と持続的な運営

○団体成果物の展示



【いよあかり】



【えまちゃんちのレモネード】



【地域新聞みあき】

○活動相談や意見交換

（１）地域団体間の連携強化の可能性

- ・活動する中で、人の輪が広がっていく（同じテーマでもバリエーションのひろがりもあり）

- ・課題解決だけだとしんどいが、それだけではないものがある
- ・体験型の事業に参加したり、いろんな場に行ってつながりができることが素敵
- ・地域間のネットワークを活用し、イベントや情報発信の相互協力をすすめるべき
- ・各団体の活動内容を集約し、広く市民へ発信するためのプラットフォームの検討が必要
- ・多文化共生によるつながりも重要→イメージしながら意識する
- ・外国人の防災におけるつながり→備蓄食についても文化、宗教等についても考える機会となる
→視点を変えることも必要。普段の生活の中でも交流のきっかけができれば理解が深まるかも
- ・活動の周知方法について、もっと知っていく機会を増やすべき、また方法も検討する必要もあると考えている（行政）→各団体のそれぞれの発信により、つながりも大切
- ・外国人だと研修生が多いので、企業の方の参加も大切。話し合いの強みを発揮できる場がある
といいかもしれない→行政からも情報提供しながら、できればいいかもしれない
- ・SNSの種類によっても届く対象が異なる。できるメンバーを見つける
- ・周知方法として、ラジオも効果的
- ・えまちゃんちのレモネードとして、レモネードだけでなく、飲食店やオリジナル商品の検討にあ
たってつながりを持ちたい。→暗いイメージを払拭し、いろんな世代等に知っていただきたい



(2) 活動資金確保の工夫

- ・自治体補助金に頼らず、クラウドファンディングや企業協賛の活用提案
- ・他地域の成功事例も参考に、新たな資金獲得手段を模索する必要性の指摘



(3) 参加者（団体）の活動する上でのモチベーション維持

- ・継続的な活動には、参加者の達成感や成果の可視化が重要
- ・小規模でも具体的な成果を示し、SNS 等で発信することで活動の魅力を伝える工夫が必要
- ・新規参加者向けのオリエンテーションや交流の機会を設け活動のハードルを下げる提案あり
- ・新聞社やメディアも活用することにより、周知はもちろんだが、活動に対して、自分たちのモチベーションにもつながる
- ・障がい者や病気の支援というと、勝手に重たいイメージを持ちがちだが、テーマとして活動に関わると達成感にもつながる
- ・スモールコミュニティのメリットを活かせれば、みんなで取り組めば楽しい取り組みになる
→伊予市にはそのポテンシャルがあると感じている



○参加委員からの感想（アドバイス含む） ※一部抜粋

（前田委員）

- ・全体の振り返りとして、つながりを生み出すことができれば○→団体がハブとなっている交流会や活動をきっかけ、興味によりつながりが生まれている
→自分たちの活動が誰かの役に立つのかも含め、他団体とのつながりも意識するといいかも
- ・多様な場の展開が出来つつあるのかもしれない
- ・防災についてもいろんな場で求められている→共存できるイメージを持つことが大切
普段からフェーズフリーの考え方をしておくことが多文化共生のハードルを下げるができるのかもしれない
- ・つながりの場があることが大事
- ・情報発信から共感、共有が生まれてくるので、その流れを作ることが必要
- ・自援力と広報力が大切
- ・共感を呼びやすいのは、地域課題の解決に取り組んでいることを伝えていけることも意識することも重要
- ・この交流会がいい場所になっているので、継続していければいいのでは

(柴崎委員)

- ・国際交流について考える際に、東温市では、ハラルフードがたくさん備蓄あり。
(例：クッキー、炊き込みご飯)
- ・一緒に過ごすことがないと、考える機会がない。普段、周りにどんな人がいるのかを想いを馳せることができるということがこれからの教育には大切になってくるのかもしれない。(一緒に過ごす体験はすごく必要になってくる。)
→今後、いろんな方とコラボしながら、自分たちの活動がどんな人に届けられるのか、どういう人たちには難しさがあるのかも考えながら、お互いに交換できる場になっていくと、他にはないコミュニティづくりになっていくのではと感じている。
- ・伊予市は来年度、全ての小中学校でコミュニティスクールが開始予定。地域の活動を地域コーディネータへ伝えていただくと、地域と学校がうまくつながるので期待している。

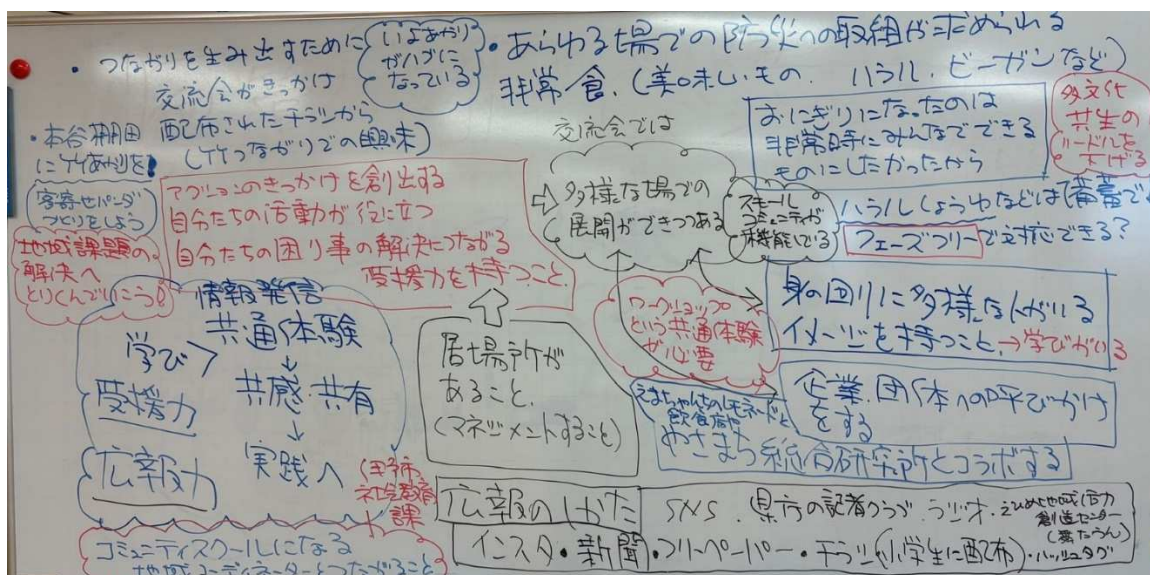
(三谷委員)

- ・えひめ地域活力創造センターでは地域づくりや移住の事業をしている。
- ・地域づくり応援団事業等も実施しているため、みなさんの活動や地域とのマッチングの機会があれば、応援させていただければありがたい
- ・多文化共生は、これから必要になってくるテーマの一つなので○
- ・センターの冊子：「舞たうん」でも多文化共生をテーマに作成

(前神委員)

- ・今日の意見交換会の中でもでている広報について、最近は、気になることがあれば、ネット検索することが多い。その際に、活動や連絡先等をネットで検索できるものがあることが大切。
- ・検索時にヒットさせることを意識する。
- ・探しても見つからないと繋がりたい人と繋がれないのはもったいない。(連絡先が分かれば○)
- ・SNSの発信が苦手な人は、何かのサイトに情報登録をするのもあり。
- ・活動についてもネットで検索して分かることが今の時代は重要。





【意見交換の内容】

○次年度以降の説明・事務連絡

- ・令和7年度事業の募集期間：4月～5月下旬→6月審査会
概ね令和6年度同様のイメージを想定
- ・他の補助事業の紹介、活動に対する相談も地域創生課（当面のワンストップ窓口）
- ・補助事業の内容について、随時ブラッシュアップしていきたいのでご意見いただきたい
→行政側：まちづくりに関わる職員の意識向上が不可欠であり、令和7年度から5カ年で
人材育成を計画（ますます、いよし。伊予市まちづくり人財育成アクションプラン）
行政と地域団体が協力しながら参画協働のまちづくりに向けて地域の魅力につなげる
- ・地縁型のコミュニティ+テーマ型コミュニティの繋がり→プラットフォーム？の構築

○閉会

- ・閉会后、団体間や参加者同士の交流の場として、会場開放（～16：30頃）

